

大阪市立 長吉 小学校



住所 〒547-0016 大阪市平野区長吉長原2-6-55

連絡先 ☎ 06-6709-2000

☎ 06-6799-1104

校長 望月 幹雄

開校 明治6年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751723>



教育目標(校訓) 「正しく 強く 仲よく」

地域の伝統をふまえ、規律ある学校生活を送り、互いに学び合い、高め合うことができる子どもの育成



重点目標

- ☆ 自分で考え、判断し、自分から動く子どもの育成
- ☆ 自分も他者も大切にできる子どもの育成
- ☆ こつこつ継続して取り組む子どもの育成

教育方針

- 確かな学力を育成する
- 豊かな人間性を育成する
- 心身ともに健康な児童を育成する

運営に関する計画

【概要】

- 安全・安心な教育の推進: いじめ問題、不登校・不登校傾向の児童への対応について重点的な取り組みを進める。
- 未来を切り拓く学力・体力の向上: 全ての子どもたちに基礎学力の確実な定着を図る。
- 学びを支える教育環境の充実: 生涯学習の支援として、子どもたちの読書習慣の形成と読書量の増加を図る。

【中期目標】

- 規律と秩序のある学校を目指し、お互いの良さに気づき認め合う集団の育成を図る。また、将来の夢や希望がもてる教育を目指す。
- 互いに学び合える環境を構築し、意欲を高め、基礎・基本の学力・体力の定着を確実に目指す。
- ICT機器を活用した学習支援、教員の資質向上および人材の確保、働き方改革の推進、生涯学習の支援、家庭・地域等の連携、協働した教育の推進を目指す。

【年度目標】

【安全・安心な教育の充実】

- 児童生活アンケート「がっこうに いくのが たのしい。」の質問に対して最上位の「はい」と回答する児童の割合を50%以上、かつ肯定的な回答をする児童の割合を85%以上とする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「キャリア教育を通して自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語、社会、算数、理科の平均正答率の対全国比を0.90以上とする。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.0%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比を男子女子共に0.95以上とする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.0%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を30.0%以下にする。



校長先生からのメッセージ

— 地域の皆様、PTA・保護者の皆様と共に歩んで153年 —

本校は、明治6年に中河内郡川辺村専龍寺に河州第34番小学・長吉尋常小学校として開設され、令和5年度には創立150年を迎えた歴史と伝統を有する学校です。開校以来「正しく 強く 仲良く」の校訓のもと、保護者や地域の方々の子どもの健全育成に対する熱い思い・厚い支援に支えられて教育活動を進めてまいりました。保護者や地域の方々との絆、信頼関係は強く、日々の登下校の見守りや様々な学校行事・地域行事などにご協力をいただくなど、本校教育活動の推進にご尽力いただいています。保護者・PTA・地域の皆様と共に行う様々な行事、地域の皆様にご尽力いただき作られた4色の柱に大屋根のある本格的な土俵、芝生運営委員会の方たちが丁寧に手入れをしてくださる芝生の北グランドは長吉小学校の魅力の一つです。

校長 望月 幹雄

R7年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	理科	平均正答率(%)
52	42	40	

●結果と概要／

国語科の平均正答率は52%でした。前年度（令和6年度）との経年変化を見ると、全国の平均正答率との差が2.1ポイント拡大し14.8ポイント下回る結果となり、前年度から若干の低下傾向を示す結果となりました。

算数科の平均正答率は42%でした。前年度（令和6年度）との経年変化を見ると、全国の平均正答率との差が10.6ポイント拡大し16.0ポイント下回る結果となり、前年度より大きく低下する傾向となりました。

理科の平均正答率は40%で、全国平均正答率と比べ17.1ポイント下回る結果となりました。



●取組の成果と課題／

昨年度は国語科を中心に研究活動を行ってきました。その結果、「言葉の特徴」と「書く」領域において昨年度から改善傾向が見られるようになりました。一方で、読書量、語彙や文法などの「知識および技能」の習得について課題が見られます。「国語（ことば）」の学習時間を設け、読書量の増加や知識および技能の習得を進めていきます。

算数科では、基礎的な知識の定着が不十分である故に論理的思考を十分に発揮できていないなどの課題が見られます。毎時間習熟度別少人数指導で細やかな指導を重ねるなど、基礎学力の確実な定着と論理的思考の形成に向けて、個別最適な学びの提供を進めていきます。



R7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	17.19	21.12	28.70	40.73	41.52	9.45	155.32	20.34	51.83
女子	16.33	19.13	29.88	35.27	34.61	9.73	142.25	12.03	51.85

●結果と概要／

大阪市や全国の平均と比べると、男子は4つの項目で上回っており、体力合計点でも大阪市の平均をわずかに上回りました。立ち幅とびに関しては、全国平均と比較して5cm以上上回る結果となっています。女子においては、全国平均と比べると下回っている項目も多く、特に、長座体前屈と20mシャトルランに関しては全国との差が大きく、課題がみられます。児童質問調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツへの関わり方について、興味や関心がありますか。」という項目において、肯定的な回答をしている児童は、男子・女子ともに全国や大阪市よりも高い値となっています。



●取組の成果と課題／

本校ではこれまで、男女ともに各運動種目で大阪市や全国の平均を下回る結果が多く見られました。課題解決に向けて、運営に関する計画に取り組みを掲げ、体育の授業以外にも、運動委員会によるドッジボール大会やランニングタイム、集会委員会によるいろいろな種類の鬼ごっこや、休み時間のみんな遊びなど、友だちと体を動かす機会を多く設けてきたことで、「運動やスポーツが好き」と回答する児童が多くなりました。また、クラス単位で行う大縄大会などの活動も行ってきた結果、一昨年度より男女ともに全国平均や大阪市平均を上回る運動種目が出るようになってきています。

今後は体育の時間の充実を図り、生涯に渡って積極的に体を動かし健康に暮らすという態度を育てていきます。



学校の特徴

地域・PTAとのつながり

保護者・PTA・地域の皆様と共に充実した教育活動を行っています。地域農園をお借りしての芋ほり、幼稚園児との交流活動、地域の日本語学校の学生の方との異文化交流、PTA主催のスマイリングフェスティバルや校内にある土俵を使ってのふれあい相撲、PTA5校園が協力して行う「MKカーニバル」、地域の方々から教わる餅焼き体験、地域の防災委員会と連携した防災学習など、体を動かし体験から学ぶ教育活動を大切にしています。



ふれあい相撲



餅焼き体験



芋ほり



登校の見守り



防災学習



幼稚園児との交流



スマイリングフェスティバル